

2023年11月8日

各 位

会 社 名 株式会社西山製作所  
代表者名 代表取締役 松山 厚志

## 「ポジティブ・インパクト・ファイナンス」による借入のお知らせ

当社は、この度、株式会社横浜銀行（以下、「横浜銀行」）と「ポジティブ・インパクト・ファイナンス」（資金使途を限定しない事業会社向け投融資タイプ）の融資契約（以下、「本契約」）を締結いたしました。

当社は、小田原市のSDGsパートナー制度「おだわらSDGsパートナー」の登録を受け、SDGs経営への積極的な取り組み等をご評価いただき本契約締結となったものです。引き続き、環境保全および脱炭素社会の実現に向けた取り組みを進めてまいります。

### 記

#### 1. ポジティブ・インパクト・ファイナンスの概要

「ポジティブ・インパクト・ファイナンス」とは、国連環境計画・金融イニシアティブが策定したポジティブ・インパクト金融原則および同実施ガイドラインに基づき、企業活動が環境・社会・経済に及ぼすインパクトを包括的に分析・評価し、当該活動の継続的な支援を目的とした融資です。

当社は、本業を通じた持続可能な社会の実現に向けた取り組みを中心に、特にSDGs目標達成に対してインパクトを与える活動について、横浜銀行からの委託を受けた株式会社浜銀総合研究所に定性的・定量的な評価を受け、後段の通り、KPIの設定と目標方針を策定いたしました。今後、これらの進捗についてモニタリングを受け、取り組みを促進、発展させてまいります。

なお、株式会社日本格付研究所から評価にかかる手続きのポジティブ・インパクト金融原則への準拠性、活用した評価指標の合理性について第三者意見を取得しております。

○株式会社日本格付研究所、「横浜銀行が西山製作所に対して実施するポジティブ・インパクト・ファイナンスに第三者意見を提供」（2023.9.28）

<https://www.jcr.co.jp/download/a55a5fcbb0325cc075ec57ffcd2c95045cbb59c5adb503cc7d/23d0716.pdf>

#### 2. 本借入の概要

- |       |        |
|-------|--------|
| ①借入額  | 180百万円 |
| ②返済期間 | 7年間    |
| ③借入先  | 横浜銀行   |
| ④資金使途 | 運転資金   |

### 3. SDGs の目標達成にインパクトを与えると評価された西山製作所の主な活動

テーマ	内容	目標と指標(KPI)	SDGs
「雇用」 「健康衛生」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・有給休暇取得の励行 取得日数 13 日以上となるよう各部門で周知・徹底する</li> <li>・フィリピンのローカルスタッフとのオンラインでの交流会を開催する</li> <li>・社内の従業員に対して内部監査の資格取得を奨励し、監査人材を増加させる 年度教育訓練計画のテーマとして織り込み推進する</li> <li>・健康増進キャンペーンを実施する</li> </ul>	<p>【目標】</p> <p>有給休暇取得率の向上 フィリピンのローカルスタッフとのオンライン交流会開催回数 内部監査員の資格保有者数の増加 キャンペーンに参加した社員の割合の増加 ・アプリ登録 ・メタガ非該当報奨金対象者</p> <p>【KPI】</p> <p>有休休暇取得率を 2024 年 3 月 31 日までに 2020 年度比 5%以上増加する 2023 年度までにオンライン交流会の開催数を 2 回以上/年 2028 年度までにオンライン交流会の開催数を 6 回以上/年 2024 年度までに内部監査員の資格保有者を 14 名に増員する キャンペーンに参加した社員の割合</p>	   
「資源効率・安全性」 「廃棄物」 「気候」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コピー枚数の見える化および削減活動の周知</li> <li>・伸管機の潤滑油槽を構造変更し、潤滑油の使用量および洗浄で使用する灯油量を削減する</li> <li>・本社および秋田工場内の照明を水銀灯から LED へ全面切り替える</li> <li>・本社および秋田工場内のフォークリフトを電動稼働のものへ切り替える</li> <li>・サンクリーナー利用量削減にともなう購入量削減、コスト低減</li> </ul>	<p>【目標】</p> <p>本社、秋田工場それぞれの年間のコピー枚数の削減 伸管機潤滑油槽の構造変更 全拠点・全施設の LED 化の割合を増やす 本社および秋田工場内のフォークリフトを電動稼働のものへ切り替え サンクリーナーの利用量削減に伴う購入量削減</p> <p>【KPI】</p> <p>本社・秋田工場ともに 2030 年度までに 2021 年度比コピー枚数を 30%削減 2030 年までに伸管機潤滑油槽の構造変更割合を 100%にする 本社：2025 年までに LED 化の割合を 100% 秋田工場：2025 年までに LED 化の割合を 70%、 2026 年までに 100% 2025 年までに 1 台電動稼働のフォークリフトへ切り替え 2023 年時点でサンクリーナーの購入量前年度比 20%減 以後 2028 年までに毎年前年度比 1%減</p>	 
「包括的で健全な経済」 「経済収束」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎年受け入れているインターンの対象高校数を増やし、地域の学生へ同社業務への理解深化を促す</li> <li>・月次での全社改善提案の募集および表彰制度の実施</li> </ul>	<p>【目標】</p> <p>インターン募集対象校を増やす 年間の改善提案件数の増加</p> <p>【KPI】</p> <p>インターン対象高校数を 2024 年度までに 2 校に増やす 2024 年度までに改善提案件数を毎年 1%増加する</p>	 
「大気」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・製品出荷時利用ストレッチフィルムについて有害物質を含まないものへ切り替る</li> </ul>	<p>【目標】</p> <p>有害物質を含まないストレッチフィルムの利用割合を増やす</p> <p>【KPI】</p> <p>本社：2025 年までに有害物質を含まないストレッチフィルムの割合を 100% 秋田工場：2028 年までに有害物質を含まないストレッチフィルムの割合を 80%</p>	

以上